費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村振興総合整備事業	都道府県名	福岡	地区名	浮羽

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	2,250,292(2,631,107)千円	
当該事業による費用	②	1,986,737(2,305,086)千円	
その他費用	③	263,555(326,021)千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46年	当該事業の工事期間＋４０年
総便益額(現在価値化)	⑤	2,585,939(3,411,980)千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.14(1.29)	

２．年効果額の総括

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	29,088(29,088)	ほ場整備及び農業用水路の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、農作物生産量が増減する効果 （対象作物：水稲、大豆、トマト、かき等）
	品質向上効果	17,562(18,156)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、農作物の品質が向上又は低下する効果 （対象作物：かき等　　）
	営農経費節減効果	42,646(42,646)	ほ場整備及び農業用水路の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、営農経費が増減する効果 （対象作物：水稲等　　）
	維持管理費節減効果(農業生産)	▲3,849(▲4,021)	農業生産施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、維持管理費が増減する効果
食料の安定供給の確保に関する効果	営農に係る走行経費節減効果	15,324(15,324)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、農業用車両の走行経費が増減する効果 （対象作物：水稲、かき等　　）

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
農業の持続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果	1,895(1,895)	ほ場整備を実施した場合と実施しなかった場合で、耕作放棄地の発生による農作物生産量が増減する効果 （対象作物：水稲等　　）
	農業労働環境改善効果	934(934)	ほ場整備を実施することで、営農にかかる労働環境が質的に向上する効果（ＣＶＭ）
農村の振興に関する効果	一般交通等経費節減効果	29,896(29,896)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、一般車両の走行経費が増減する効果
	非農用地創設効果	285(285)	ほ場整備を実施した場合、換地手法を用いることで、公共用地の取得にかかる経費が軽減する効果
	災害時応急対策効果	－(3,004)	防火水槽及び地域農業活動拠点施設の整備を実施することで、災害時に非常用施設として活用できる効果
	生活環境改善効果	－(35,061)	集落道、集落排水路や防火水槽の整備を実施することで、安全で快適な生活環境が確保される効果（ＣＶＭ）
	維持管理費節減効果(農業生産以外)	－(▲43)	農業生産施設以外の整備を実施した場合と実施しなかった場合で、維持管理費が増減する効果 対象施設：集落道、集落排水路、防火水槽、地域農業活動拠点施設
	地域コミュニティ維持向上効果	－(4,064)	地域農業活動拠点施設の整備を実施することで、コミュニティが維持され、地域が活性化する効果（ＣＶＭ）
計		133,781(176,289)	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村振興総合整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	高田

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	1,463,225(1,728,788)千円	
当該事業による費用	②	1,228,610(1,441,386)千円	
その他費用	③	234,615　(287,402)千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋４０年
総便益額(現在価値化)	⑤	3,044,401(3,377,324)千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.08(1.95)	

２．年効果額の総括

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	3,251(3,251)	ため池整備により、用水の適期・適量確保が可能となり作物生産量が増加する効果 （対象作物：水稲、大豆、みかん、ぶどう等）
	品質向上効果	9,858(11,554)	農道及び農業集落道整備により、農作物運搬に伴う荷傷みが防止され出荷量が増加する効果 （対象作物：ぶどう、みかん等　　）
	営農経費節減効果	22,209(22,209)	農業用用排水施設整備により、排水機能を確保し、湿田化に伴う営農作業効率の低下を防止する効果 （対象作物：水稲、小麦、大豆　　）
	維持管理費節減効果	－89(－179)	農道及び農業集落道の拡幅・舗装により維持管理対象施設が増加することに伴い維持管理費が増加するマイナス効果
	営農に係る走行経費節減効果	5,246(5,246)	農道整備により、輸送距離短縮、速度向上が図られ、農産物等の輸送経費が節減される効果

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
農業の持続的発展に関する効果	災害防止効果（農業関係資産）	62,555(62,555)	農業用用排水施設整備により、水路及び隣接農地の崩壊を防止する効果
農村の振興に関する効果	地域用水効果	9,618(9,618)	農業用用排水施設整備により、防火用水としての機能が高まり、防火施設設置費用が軽減される効果
	一般交通等経費節減効果	6,137(6,137)	農道整備により、走行距離短縮、速度向上が図られ、一般交通の走行経費が節減される効果
	生活環境改善効果	0(16,625)	農業集落道整備により、日常生活の安全性、快適性が向上する効果（ＣＶＭ）
多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果（公共資産）	29,329(29,329)	農業用用排水施設整備により、水路及び隣接道路等の崩壊を防止する効果
	計	148,114(166,345)	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村振興総合整備事業	都道府県名	大分県	地区名	弥生

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	2,019,119(2,754,052)千円	
当該事業による費用	②	672,512(1,000,974)千円	
その他費用	③	1,346,607(1,753,078)千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋４０年
総便益額(現在価値化)	⑤	2,593,241(3,598,210)千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.28(1.30)	

２．年効果額の総括

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	99,140(99,140)	農業用用排水施設・鳥獣侵入防止施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 （対象作物：水稲、なす、さといも等）
	品質向上効果	699(699)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での荷傷み防止の効果 （対象作物：なす、キャベツ、だいこん等）
	営農経費節減効果	7,530(7,530)	農業用用排水施設・鳥獣侵入防止施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象工種：農業用用排水施設、鳥獣侵入防止施設
	維持管理費節減効果	△1,266(△1,713)	農業用用排水施設・農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用排水路、農道

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
食料の安定供給の確保に関する効果	営農に係る走行経費節減効果	23,787(23,787)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での走行経費が節減又は維持される効果 （対象作物：水稲、なす、だいこん等）
農村の振興に関する効果	生活環境改善効果	－(54,425)	集落道、集落排水施設、防災安全施設、施設補強の整備を実施した場合の日常生活の安全性・快適性が向上する効果
計		129,890(183,868)	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村振興総合整備	都道府県名	鹿児島	地区名	霧島西部

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	2,293,500(2,296,212)千円	
当該事業による費用	②	1,137,143(1,138,707)千円	
その他費用	③	1,156,357(1,157,505)千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋４０年
総便益額(現在価値化)	⑤	3,622,866(3,642,958)千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.57(1.58)	

２．年効果額の総括

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	22,506(22,506)	用排水施設の整備、ほ場整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 （対象作物：水稲、大豆、かんしょ等）
	営農経費節減効果	114,696(114,696)	用排水施設の整備、ほ場整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、かんしょ、かぼちゃ等）
	維持管理費節減効果	-2,329(-2,329)	用排水施設の整備、ほ場整備、農用地の改良保全を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果	災害防止効果(農業)	24,140(24,140)	ほ場整備、農用地の改良保全を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設：農業関係資産、一般資産

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
農業の持続的発展に関する効果	農業労働環境改善効果	8,408(8,408)	ほ場整備を実施した場合と実施しなかった場合での精神的疲労等が改善される効果
農村の振興に関する効果	生活環境改善効果	－(1,235)	農業集落防災の整備を実施した場合と実施しなかった場合での日常生活の安全性や快適性が増減する効果
計		167,421(168,656)	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村振興総合整備	都道府県名	鹿児島	地区名	末吉

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	2,053,060(2,160,614)千円	
当該事業による費用	②	1,084,721(1,172,932)千円	
その他費用	③	968,339(987,682)千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋４０年
総便益額(現在価値化)	⑤	5,997,757(6,163,420)千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.92(2.85)	

２．年効果額の総括

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	59,999(59,999)	用排水施設の整備、ほ場整備、鳥獣害侵入防止施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 （対象作物：水稲、かんしょ、さといも等）
	品質向上効果	721(721)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での荷痛み防止の効果 （対象作物：かんしょ）
	営農経費節減効果	171,889(171,889)	用排水施設の整備、ほ場整備、鳥獣害侵入防止施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 （対象作物：水稲、かんしょ、さといも等）
	維持管理費節減効果	-1,325(-1,315)	用排水施設の整備、農道、ほ場整備、農用地の改良保全、農業集落道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果

項　　目		年効果額（千円）	効果の内容
	営農に係る走行経費節減効果	62,989(62,989)	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での走行経費が節減又は維持される効果 （対象作物：水稲、かんしょ、さといも等）
農業の持続的発展に関する効果	災害防止効果(農業)	3,524(3,524)	用排水施設の整備、ほ場整備、農用地の改良保全を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設：農業関係資産、一般資産
	農業労働環境改善効果	1,703(1,703)	ほ場整備、鳥獣害侵入防止施設を実施した場合と実施しなかった場合での精神的疲労等が改善される効果
農村の振興に関する効果	災害時応急対策効果	－(2,172)	農業集落防災施設において整備した施設を災害時に活用することができる効果
	生活環境改善効果	－(7,910)	農業集落道、農業集落防災の整備を実施した場合と実施しなかった場合での日常生活の安全性や快適性が増減する効果
計		299,500(309,592)	